

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【公開番号】特開2004-8516(P2004-8516A)

【公開日】平成16年1月15日(2004.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2004-002

【出願番号】特願2002-166823(P2002-166823)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 5/055

G 0 1 R 33/28

G 0 1 R 33/48

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 8 3

A 6 1 B 5/05 3 8 2

G 0 1 N 24/02 B

G 0 1 N 24/08 5 1 0 Y

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月31日(2005.5.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

静磁場内に置かれた被検体に、所定のパルスシーケンスに則り高周波磁場及び傾斜磁場を印加するとともに、前記被検体から発生する磁気共鳴信号を計測する撮像手段と、前記磁気共鳴信号を処理し、前記被検体の所望の組織を画像化し表示する信号処理手段と、前記撮像手段及び信号処理手段を制御する制御手段とを備えた磁気共鳴イメージング装置において、

前記撮像手段は、複数の時系列画像を取得するダイナミック計測のためのパルスシーケンスを備え、前記信号処理手段は、前記ダイナミック計測の実行によって前記撮像手段が取得した複数の時系列画像用のデータを用いて、時系列画像を連続表示するとともに、前記時系列画像用のデータから所定の信号値を抽出し、抽出信号値の時間的变化を表示することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項2】

前記抽出信号値は、k空間の原点の信号値またはk空間の原点の信号値を読み出し方向に積算した値である請求項1記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項3】

請求項1または2に記載の磁気共鳴イメージング装置であって、前記制御手段は、前記抽出信号値が閾値に達したときに、前記時系列画像の空間分解能を上げるように前記パルスシーケンスの傾斜磁場印加条件を変更することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項4】

請求項1ないし3いずれか1項に記載の磁気共鳴イメージング装置であって、前記撮像手段が実行するダイナミック計測は、造影剤を用いて血流の動態変化を観察する血流撮像である磁気共鳴イメージング装置。

【請求項5】

請求項 1 ないし 4 いずれか 1 項に記載の磁気共鳴イメージング装置であって、前記信号処理手段は、前記抽出信号値の時間的变化を、連続表示される時系列画像と時間的に対応させて表示することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。